

☆速報 ニイガタ

厚生連労組

No.1532

(2014年9月9日)

新潟県厚生連労働組合

ホームページアドレス

<http://n-soyokaze.jp/home/>

連合新潟・看護師の離職防止へ結集 県知事に署名7万5千筆を提出

9月8日、連合新潟は、「新潟県内に働く看護師の離職防止」を求める署名を、泉田知事あてに提出しました。署名の提出には、連合新潟齋藤悦男副会長（自治労新潟県本部委員長）、厚生連労組白井康博執行委員長、連合新潟医療部門連絡会議齋藤副座長（小千谷総合病院従業員組合委員長）らが参加し、看護職員の不足や超過勤務など長時間労働の実態を伝えました。

池田副知事は、「県としても看護職員の確保は最重要課題」と理解を示し「あらたな対策も検討したい」などとなりました。齋藤副会長は、引き続き県と連合新潟とのあいだでこの問題を話し合うことを要請。今後、国にも要望していく事も検討しています。

報道各社も強い関心

県内の医療従事者の労働環境改善を



連合新潟では、6月から8月にかけて、「看護職員をはじめとする医師、医療従事者の労働環境改善・人員の確保の対策」を県知事に要請する署名に取り組んできました。厚生連労組は13,500筆の協力が得られ、全体では県立、自治体立、日赤、民間病院など50病院1500人の医療労働者と連合加盟の組合員の協力を得て7万5千筆に達しました。

新聞社から、厚生連労組が連合新潟・自治労になぜ加盟したのかと質問もされ、白井執行委員長は、「新潟県内の地域医療を守るには、公立・公的病院がともに運動していくことが大切だからです。県立病院が加盟する自治労、さらには連合の仲間とともに運動を大きくしたい」と答えました。



池田副知事に署名を手渡す白井執行委員長
写真左から

白井執行委員長（厚生連労組）

齋藤副座長

（小千谷総合病院従業員組合委員長）

池田副知事

齋藤連合副会長

（自治労新潟県本部委員長）



夜勤協定を守ろう！ 人員不足を解消しよう！